

第5回検討会(書面)でいただいたご意見等

- 情報通信技術が相当進歩してきているとはいえ、実際に遠隔で面談を行うには通信状態が良好であって、かつ、双方が熟練していないとなかなかうまくいかないものと考える。導入にあたり、スケジュールの確保も含めて、時間をかけて実証実験を行っていただきたい。
- 対応される医師に関しても、実際の船上の労働環境がどのようなものかよくご理解いただいている医師にご担当いただけるようお願いしたい。乗船前健診の内容で保健指導が必要な場合は、指定医ということになるかもしれないが、労働環境をご理解されてからが望ましい。
- 船上でメンタルヘルスに問題があると、すぐに（海に）飛び込める環境にもあるので、医師、船主、乗組員の連携によるケアが必要になることを十分考慮いただきたい。
- 下船すると大多数の船員が解き放たれたようにリラックスしており、乗船中と同じ状況とは認識できなくなる。
- 労働時間把握→面接指導対象者割り出しにおける各ステップが、職場風土にどのように影響するのか、船員はどのように捉えるのかについても一度整理すべき。管理することが目的ではなく、健康な職場風土を作っていくことを目的にできるほうが良い。